

ペルソナ

作：小山千翔

《登場人物》

X	男子高校生
Y	女子高校生
Z	女子高校生
	他
	他
	他

【 第一場 奇劇開幕 】

X 幕が開く

舞台のベルが鳴る

舞台上には X だけ

X 第一場

舞台に明かりが灯る

X 『この世はすべて、ひとつの舞台、男も女も人はみな役者に過ぎぬ』

それはまるで一人の人間のようで、大勢の別の人間のよう

X おはよー、え、今日、小テストあるの・・・？あ、終わったー・・・

何も勉強してない、あーあもういつか・・・一時間目ってなに？

え、日本史・・・？あ、寝るわ・・・

X (コントローラーを操作している) よし、そこ・・・いるいるいる、上上上上

ナイス・・・はい、雑魚乙——ｗｗきたー——

は？死ぬ死ぬ死ぬ

X え、まって、配信中・・・！？

「いつも応援してます、少しですが生活の足しにしてください」っと

え！？読んでくれたんだけど！尊い・・・

X (スマホをいじっている) 「今日から春休みなんだが校長40分も話してて鬱

早く帰りたいんだが」・・・「激しく同意ｗｗもう学校の七不思議だろｗｗ」

X ん？なに？・・・ごはん？そうかー！ごはんでちゅかー！、はい、ご飯ほしい猫！

あーよくないけまちたねー！はい、おいでおいでー！くうあわいいねー

・・・はい、お手、はい、おー！て、あ、もういいあげちゃうー！

X ん？・・・あとで、あとでやるからー！ん？なに？ごはん？ん？なんでもいい・・・

なに？猫にごはん？あげたよ、うん・・・なに！？その日・・・はバイトあるよ

だから何よもうー！、え？お小遣い？・・・それはちょうだい

X

ごめん、このプリント写させてくれない？・・ありがとう
いやーね、前回の授業寝ててさ・・え？あ、そーなん、へえー
ふーん・・そうなんだ、へえー

X

・・お！え、ひさしぶりー！！え？部活帰り？へえーおつかれー
この後さ、空いてる？カラオケ行かない？よっしゃじゃあ、まねきでいい？
いこいこ！

X

・・ぼくは・・？

Y・Z

ペルソナ

・・

ペルソナ

・・

ペルソナ

X

・・「ペルソナ」・・とはラテン語で「仮面」または「役割」を意味する

古典劇において役者がつける仮面であり

心理学において人間の持つ外的側面である

かの有名なシェイクスピアは喜劇

「お気に召すまま」にて、こんな言葉をのこした

X

『この世はすべて、ひとつの舞台、男も女も人はみな役者に過ぎぬ』

Y

生きること・・それすなわち

「演じる」ことである

人はみな様々な自分を演じているのです

X

僕は・・！

三人

誰？

Y

かーごめ、かーごめ

Z

かーごのなーかのとーりーは

Y

いついつでやーる

Z

よあけのばーんに

Y

つるとかめがすべった

Z

うしろの

Y しょうめん

X ・・だあれ？

【 第二場 狂気爛舞 】

Y・Zは仮面をつける

Y・ZはXへ仮面を差し出す

X 第二場

Xは仮面をかぶる

X 紳士淑女の皆様、本日は仮面舞踏会へようこそ！

ここでは、仮面をかぶること、これだけはどうかお守りください

今宵は仮面をかぶり、身を隠し、素顔を隠し、本能を隠し

どうぞ、存分に歌と踊りをお愉しみてください・・・お気に召すままに

ここは仮面舞踏会、曲が舞台にひろがる
それぞれ自由に踊っている

Z あの、すいません

X はい？

Z えっと、その、わたしと踊っていただけないかしら

X ぜひ！あなたみたいなかわいい人となら喜んで

Z ほんと！？・・・わたし、かわいい？

X うん、さあ、おいで？（手を差し伸べる）

Z うん！（手をとる）

X・Zは二人きりで自由に踊っている

Z 彼はわたしのことを初めて必要としてくれた人・・・！

X・Zは仮面をはずして、舞っている

Y あゝあ、いけないんだ

二人の踊り舞う姿をとくからYは見ている

Y わあ！

X ・・！！やっちゃった・・・！

Xが逃げる

Z え・・・まって！

音楽が止まり、静寂がうまれる

Zは別の仮面を手に取り、かぶる

Xが向こうからやってくる

ZはわざとXにぶつかる

Z きゃ・・・いってて、ごめんね、あたしっておっちょこちよいで・・・もー、だめだめ

X あ、えっと、ごめん、大丈夫・・・？

Z ううん、あたしは平気！・・・体大切にしないとイケないのね

X ごめん

Z だから大丈夫だって！・・・ね！このあと・・・

X じゃあね

Xが逃げる

Z ちょっと・・・また・・・！

Zはまた別の仮面を手に取り、かぶる

Xがスマホをいじって、歩いている

Z やっほ〜

X うわ、え、なに？

Z いや、最近避けてるじゃ〜ん

X ・・・・

Z え、待って、だまんないでよ〜、ちようウケる

X ・・・・うけねーよ

Z え〜、こういうの嫌い？

X ・・・・ほんと、ごめん、無理

Xが逃げる

Z なんで・・・！なんでまた！！・・・わたし！みてよ

Zはまた別の仮面を手に取り、かぶる

Zは電話をかける

Xが電話に出る

X ・・・・なに？

Z なにってさ〜、もう最近うちのこと避けすぎ！

X もうかかわらないでよ

Z なにそれ！・・・もう一回うちと会ってよ

ZはYからの仮面をかぶる
産声が遠のいて消える

YのことをZは遠くで見ている

Y おひさしく

X えっと・・・誰？

Y 覚えてないの〜私だよ、私！も〜やだなあ〜

X あ、ああ、久しぶり・・・その、おなかの

Y 大丈夫！だって私達高校生だよ？無理でしょ、育てるの

私もそれくらいバカじゃないよ、それに

そっちのほうが君、好きでしょ？

X ・・・・うん、ありがとう

XはYについていこうとするが立ち止まる

X 君・・・だれ？

Y え、

X なんか、別人みたいに思っちゃって

Y えっと

Zの仮面が外れる

Z わたし？・・・わたしは・・・

Zは手元の仮面をみつめる

Zは仮面をかぶる

Y・Z 私だよ！なにいつてんの？

X そうだよね、行こうか

Y・Z うん！

X・Yは二人でどこかに行く

Zは仮面をはずす

Z これで・・・いいの

Zはまた仮面をつける

Zが踊っている、無音の中で、ただひとり

【 第三場 落歌啼鳥 】

X 第三場

学校のチャイムが鳴る

Yが歌を歌いながら歩いてくる

Y あたしね、鳥さんが好きなんだ、きれいな羽で自由に空を飛んでて

気持ちよさそうで美しくて、好き・・・あたしね、ねむれないの、怖いから
夢をみたくないの、怪物がでてくるから

Yは後ろを向き仮面を地面に置く

Yは耳をふさぐ

X なんて汚らわしい!!

Z なんて醜い!

X なんて愚かだ!

Z なんて無能だ!

X 消えろ!!

Z 失せろ!!

Yは仮面を手取る

Y だからあたしはあたしから逃げるの

X あの人って本当にまじめだよね

Yが仮面を彫る

Z あの人ってクールでかっこいいよね!

Yが仮面を彫る

X じっくりも本ばっか読んでる

Yが仮面を彫る

Z もっと、女の子らしくするのよ、いい?

Yが仮面を彫る

X きっとお前ならいい大学に行けるさ

Yが仮面を彫る

Z 学級委員長向いてると思う

Yが仮面を彫る

X 先生は頼りにしているぞ

Yが仮面を彫る

X・Z 委員長！

Yが仮面をかぶる

Y おはようございます

X 委員長！ここ教えてくれない？

Y いいですよ

Z 委員長！手伝って！

Y いいですよ

X 委員長！これ運ぶの手伝ってくれ

Y わかりました

Z 委員長！掃除代わってくれない？

Y もちろん、いいですよ

X 委員長！まとめるの任せるね！

Y はい

Z 委員長！

X 委員長！

X・Z 委員長！！

Y ・
・
・

Yは仮面をはずして、逃げる

Y いや！・・・なんて言えないの、言えるわけないの
X 委員長！

Y いいんちよう？

Z 委員長！

Y あたし・・・？

X・Z ね！委員長！これお願い！

Y あたし、委員長じゃないの！あたしは・・・！・・・あたしは・・・
いつからだっけ・・・怪物が夢に出てくるようになったのは

檻の閉まる音が響く

Y やだ・・・！

Y が逃げ出そうとするが目の前にX・Z が現れる

X・Z はYを押さえつけて、まわりをまわる

X 委員長

Z あなたはまじめ

Z 委員長

X あなたは賢い

Z 委員長

Z あなたは優しい

Z 委員長

X あなたはいい子

X 委員長

Z あなたは・・・

Z は仮面をYに渡す

Y は仮面をかぶるのをためらう

Y や、やだ！

X・Z 委員長、どうしたの？

Y た、たすけ

Y は仮面をつける

Y なんでもない、大丈夫ですよ

Y は仮面をかぶって歩いていく

その後ろをXとZが離れずついていく

【 第四場 白錯目演 】

X 第四場

X 仮面をかぶって「変身！」

Y なにしてるの？

X え、たたかいごっこ！

Y はいはい

X ねえねえママ！このベルト買って！

Y だめよ

X なんで！ほーしーい！！

Y だめよ

X やーだー！！ほーしーい！！

Y だめよ、いい加減にしなさい

X ・・・はーい

Y どうせ嘘なんだから

X え？

Z ヒーローなんていない！

Y 変身なんてできない！

Z 全部つくりもの！

Y・Z あなたはあなたのまま！

X 変身

そうだね、母さん

X は仮面をひとつ地面に置く

X 場面が変わる

変身

X は別の仮面を手取る

Y 今日の小テストむずくない？範囲多いし

Z それな？あと一時間目の日本史もきつい

Y いや分かるゝ

X は仮面をかぶる

X おはよー

Y おはよう、今日の小テスト勉強した？

X え、今日小テストあるの・・！？

Xは仮面をひとつ地面に置く

X
場面が変わる

変身

Xは別の仮面を手取る

Y 今日夜の夜試合しませんか？

Z いいっすね、アプデして、新マップ追加されたみたいだし

Xは仮面をかぶる

X よし、そこ！・・・いるいるいる、上上上！

Xは仮面をひとつ地面に置く

だんだん変身スピードが加速していく。そのスピードにXは振り回されはじめる

X
場面が変わる

変身

Xは別の仮面を手取る

Y 卒業シーズンとか微塵も心動かなかったんだが

Z 修了式暇すぎて校長の髪の毛数えてたら3桁無くて草

Xは仮面をかぶる

X 今日から春休みなんだが校長40分も話してて鬱

早く帰りたいんだが

Xは仮面をひとつ地面に置く

X
場面が変わる

変身

Xは別の仮面を手取る

Y にゃ〜お

Z にゃあ

Xは仮面をかぶる

X ごはん？そうか〜ごはんでちゅか〜

Xは仮面をひとつ地面に置く

X
場面が変わる

変身

Xは別の仮面を手取る

Y ねえ、勉強いつするの？テスト前でしょ

Z スマホいじってるなら、ここのもの片づけてくれる？

Xは仮面をかぶる

X あとで、あとでやるから!!

Xは仮面をひとつ地面に置く

X 場面が変わる

変身!

Xは仮面ひとつを地面に置く

X 場面が変わる

変身

Xは仮面をひとつ地面に置く

X 場面が変わる

変身!!

・・・へん、しん!!

ぼくは・・・

ぼくはだれだっけ・・・?

Y・ZはXがまるでいないかのように動き回り、様々な言葉を発する

それはXの周りにいる様々な人の言葉

X ねえ

Y・Z 動きをとめる

X そこに、ぼくは、いる?

・・・ぼくは、どこに、いる?

Y・Z そこにいるじゃないか

Y・Z Xとは視線が合わない

Y・Z また動き回る

X どれ?

X 足元の仮面たちを見下ろす

Y・Z どれも

X どれも・・・?

Xは少しずつ自分の仮面たちを拾っていく

生きること

Z 「演じる」こと

Y ひとつは様々な役の仮面を

Z 常にかぶっている

Xはすべての仮面を抱えている

X …… ああ、ずっと僕は生きていたんだ!!

Y ならば死ぬこととはなんなのだろうか

…… かの有名なシェイクスピアは喜劇

Z 「お気に召すまま」にて、こんな言葉をのこした

X 『この世はすべて、ひとつの舞台、男も女も人はみな役者に過ぎぬ』

わたしたちは役者だから演じるのではない

演じなければ、役がなければ、この舞台に

存在できない

X ペルソナとはラテン語で「仮面」または「役柄」を意味する

古典劇において役者がつける仮面であり

心理学において人間の持つ外的側面である

X この世界において「ペルソナ」とは

本当の自分、である

Y 確固たる自分

唯一無二の自分

など存在しない

なぜなら

役のないものなどこの舞台にいない

Z いらぬ

Xが手をたたく

他者とのかわり

他者との集団、すなわち

舞台、の中にのみ、自分、という存在がある

本当の自分というものがあるとすれば

それは、それこそが

「ペルソナ」である

役がある場面の数ほど、幕の数ほど、

ぼくたちは存在するのである

だから今日も

明日も

この先ずっと

生きるために

存在するために

仮面をかぶり

Z この舞台が終わるまで
X 演じつづける！

X これは舞台の終わりではない
Y ただこの幕が閉じるだけ
Z またすぐに次の幕が開かれる

Y・Z ペルソナ

X 『この世はすべて、ひとつの舞台、男も女も人はみな役者に過ぎぬ』

X 幕が閉じる

暗転

舞台のベルがなる

X 次の幕が、開いた

この舞台は続いていく

おわり